

平成22年度 事業報告

少子高齢化やライフスタイルの多様化、経済状況の停滞などにより、住民が抱える生活課題は一層複雑多様化しており、公的サービスだけでは全てを解決することはできなくなっている。また、制度の谷間にある複合的な課題を抱えている人も少なくない。

このような状況の中で、本会では、地域福祉活動の中核となる校区社会福祉協議会の支援に重点を置き、ふれあいネットワーク活動やふれあいサロン活動の充実を図るとともに、日常生活自立支援事業等の個人支援にも積極的に取り組んだ。また、生活課題を抱える個人に寄り添い、地域住民と連携して解決に向け取り組む「地域福祉ソーシャルワーカー事業」の実施に向けた準備をすすめた。

平成22年度は、以下の方針をもとに各種事業を実施した。

【重点項目】

- 1 校区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の推進
- 2 ボランティア活動の推進
- 3 区社会福祉協議会事業の充実・強化
- 4 財政基盤の強化
- 5 「地域福祉活動計画」の策定
- 6 市民サービスの向上
- 7 東日本大震災への支援

【主な事業】

- 1 住民主体の在宅福祉サービスの推進
- 2 ボランティア活動の推進
- 3 地域福祉推進体制の充実・強化
- 4 福祉啓発活動の充実
- 5 介護サービス評価事業
- 6 心配ごと相談事業
- 7 奉仕銀行（寄付）の運営
- 8 ファミリー・サポート・センター事業
- 9 日常生活自立支援事業
- 10 高齢者賃貸住宅入居支援事業
- 11 貸付事業
- 12 市民福祉プラザ事業の推進
- 13 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済制度の運営
- 14 福祉人材の育成
- 15 ホームレス自立支援事業
- 16 各種福祉事業
- 17 福祉サービス苦情解決
- 18 財源の確保
- 19 会務の運営

【重点項目】

1 校区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の推進 (85,174千円)

誰もが住みなれた地域で、健やかに安心して暮らせる「ともに支えあう福祉のまち」をめざし、校区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動を推進した。また、校区社会福祉協議会や民生委員・児童委員など、地域の見守り活動を行う組織への相談・支援を行う地域福祉ソーシャルワーカー事業の実施に向けて検討した。

2 ボランティア活動の推進 (108千円)

ボランティア活動への参加促進やボランティア意識の高揚を図るため、広報・啓発活動や相談・紹介など各種事業を実施した。平成22年度は、下記の事業に重点を置き、実施した。

(1) 災害ボランティア活動の推進

災害時ボランティアセンターとして十分に機能するため講座を実施したり、行政や市内の自主防災組織、防災士、NPO 団体等と速やかに連携できるよう定期的に連絡会を行うなど、体制づくりを行った。

① 災害ボランティア講座

実施日	平成23年3月12日(土)
会場	市民福祉プラザ
テーマ	「災害時は日常が支える」(講話)
講師	村野 淳子 氏(大分県社会福祉協議会職員)
参加者数	38人
実施日	平成23年3月20日(日)
会場	福岡市NPO・ボランティア交流センター
テーマ	「ボランティアに行く前に考える」(講話)
講師	森田 浩章 氏(福岡市消防局職員)
参加者数	60人

② 共働・防災フォーラム

[実施日] 平成22年9月21日(火)

[会場] 福岡市NPO・ボランティア交流センター

[内容] 災害ボランティアセンター運営について災害支援団体等との懇談会を行った。

[参加者数] 15人

(2) 出前ボランティアセンター事業

平成23年度本格実施に向けて、地域のイベント等に出向き、来場者にボランティア活動についての相談や広報を試行的に行った。

行事名	実施状況
第49回博多どんたく港まつりどんたくチャリティフェス in 警固公園2010	[期間] 平成22年5月3(月)・4日(火) [会場] 中央区警固公園 [来場者] 43人
唐人町商店街国際フリーマーケット	[期間] 平成22年8月28日(土) [会場] 中央区唐人町商店街 [来場者] 99人
西区まるごと博物館 IN さいとぴあ2010(西区社協)	[期間] 平成22年9月26日(日) [会場] 西部地域交流センター [来場者] 134人
あすみんフェア	[期間] 平成23年2月19日(土) [会場] 福岡市NPO・ボランティア交流センター [来場者数] 200人

3 区社会福祉協議会事業の充実強化

(1) 関係機関との連携による地域福祉活動の支援

① ふれあいネットワーク事業

(26,055千円)

一人暮らしの高齢者など、援助を必要とする人々が地域で孤立しないよう、地域住民や関係機関が連携して、日常的な見守りや軽易な生活支援等に取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる充実に向け、区社会福祉協議会とともに活動を支援した。

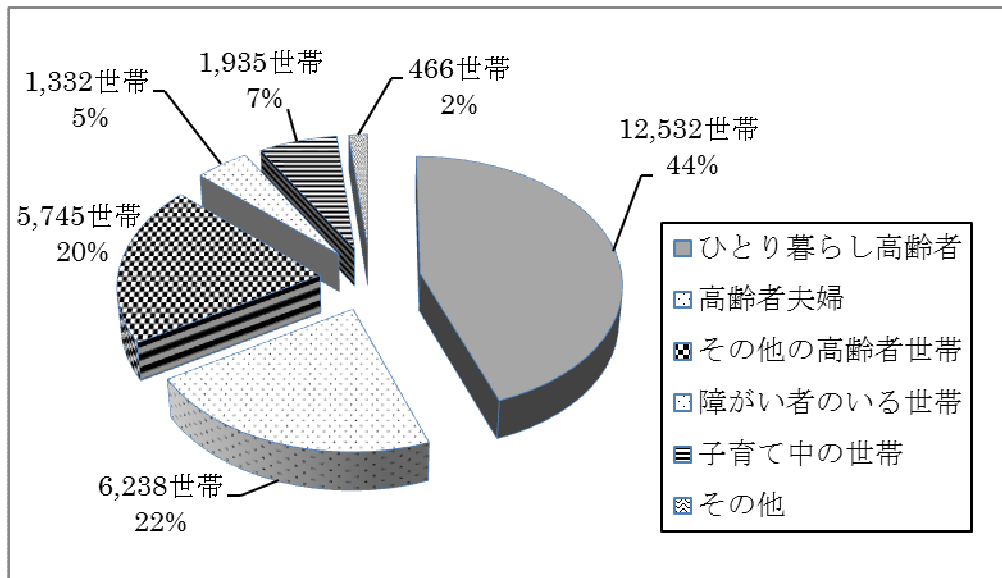
なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費を助成した。

[助成額] 16,799,525円

[助成状況] (平成23年3月末現在)

区	助成校区数	実施自治会数	対象世帯数	ボランティア数
東	25	329	5,896	1,929
博多	21	309	5,916	1,368
中央	12	255	3,792	1,474
南	25	299	3,556	1,719
城南	11	147	2,138	1,163
早良	18	177	3,099	1,171
西	17	119	3,851	1,438
合計	129	1,635	28,248	10,262

[ふれあいネットワーク事業対象世帯内訳]



[活動内容内訳]

活動内容		世帯数
安否確認・声かけ・話相手		25,980
保健福祉サービスの紹介		3,415
生活の支援	ゴミ出し	624
	電球の取り替え	141
	買物代行・薬取り	222
	家事援助（掃除・洗濯・炊事など）	158
	外出援助（通院・買物付添など）	272
	急用時のこどもの送り迎え・預かりなど	19

② ふれあいサロン事業

(24,618千円)

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等の孤独感の解消や介護の予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所などで、レクリエーションや、仲間づくり・交流・ふれあいに取り組む「ふれあいサロン活動」の拡充を支援した。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費を助成した。

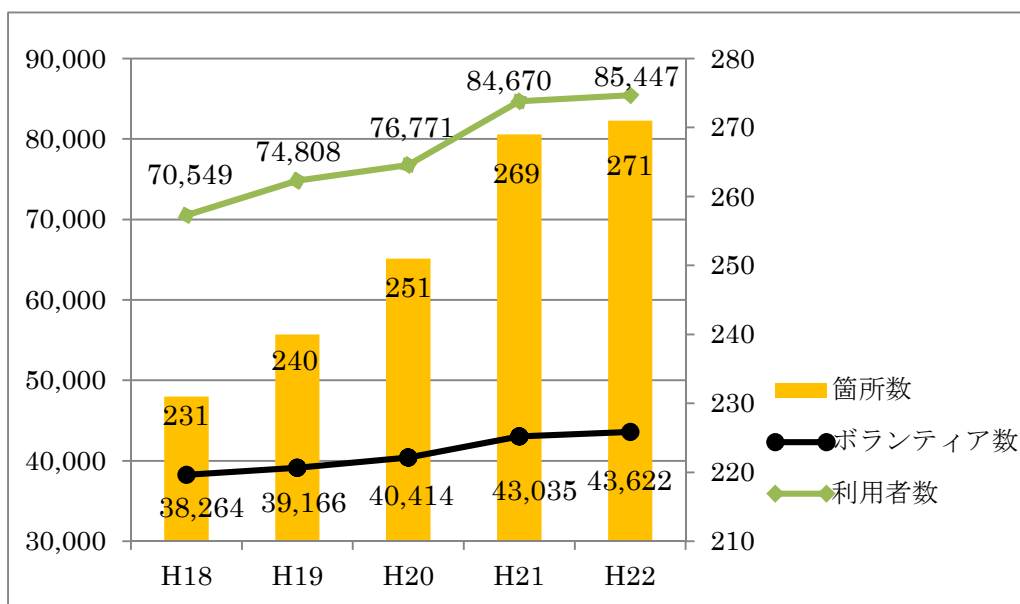
[助成額] 15,873,000円

[助成状況] (平成23年3月末現在)

区	助成校区数	箇所数	延べ利用者数	延べボランティア数
東	25	62	22,042	10,919
博多	20	33	12,125	4,040
中央	13	24	6,052	3,618
南	22	33	10,878	5,284

城南	11	33	8,520	4,412
早良	22	42	12,879	8,842
西	22	44	12,951	6,507
合計	135	271	85,447	43,622

[ふれあいサロン事業助成箇所数、ボランティア数、利用者数の推移]



(2) 区ボランティアセンター事業の充実

区ボランティアセンターと共働し、地域住民のボランティア活動への参画を促す講座や研修会の実施、活動相談やコーディネートの実施の充実を図った。

(3) ファミリー・サポート・センター事業の充実 (30,508千円)

子育てが家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい人」「応援したい人」を組織化し、会員制による相互援助活動を広めた。また、平成23年度から障がいがあるなど特別な支援が必要な児童の対象年齢を中学生にまで引き上げるとともに、出産のため里帰りしている人の子どもを援助できるよう準備を行った。

① 会員登録状況 (平成23年3月末現在) (単位：人)

依頼会員	提供会員	両方会員	計
4,273人	786人	758人	5,817人

② 活動内容及び回数

	活動内容	回数
1	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	3,479
2	保護者等の買物等外出の場合の援助	1,385
3	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	1,322
4	子どもの習い事等の場合の援助	1,294

5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	1, 114
6	その他 ・小学生の放課後の預かり ・登校前の預かり又は送り ・保育所、幼稚園の迎え等	5, 793
	合 計	14, 387

③ 講習会・交流会等の実施

(ア) 依頼会員登録講習会 (支部：月～金、本部：第3土曜日)

(イ) 提供会員養成講習会 (5回、受講者延べ858人)

(ウ) フォローアップ講座 (2回、参加者延べ101人)

(エ) 会員交流会 (19回、参加者延べ447人)

(オ) 活動未体験会員のための「あずかりっこ」(9回、参加者延べ172人)

④ 会員リーダー連絡会の実施 (2回)

(4) 日常生活自立支援事業の充実

(51, 881千円)

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活ができるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの生活支援を行った。

① 相談状況・契約件数

(ア) 相談件数 698件

(イ) 調査件数 261件

(ウ) 契約件数 109件 (前年度からの相談も含む)

(エ) 総契約件数 (平成12年1月～平成22年度末)

692件 (解約累計402件)

(オ) 平成23年3月末現在契約件数 290件

[利用者内訳]

対 象 者	件数
認 知 症 高 齢 者	191
知 的 障 が い 者	39
精 神 障 が い 者	58
その他	2
合 計	290

② 登録サポーター (登録型生活支援員) 制度の導入

今後増大する利用者に対し、効果的な支援体制を整えるため、サービスを提供する生活支援員の一部を市民が担う「登録サポーター (登録型生活支援員) 制度」を導入した。

一般公募により、福祉に対する熱意と関心の高い市民が、2日間の養成講座を受講し、利用者の特性や福祉制度への理解を深めたうえで、登録サポーターとして活動を行った。

〔実施状況〕

(平成23年3月末現在)

	日時	受講者数	登録者数	活動者数	活動回数	活動時間
第1回	7月5日、8日	22人	19人	8人	41回	62h
第2回	10月5日、8日	23人	15人	6人	18回	27.5h
第3回	1月12日、17日	35人	26人	0人	—	—
合計		80人	60人	14人	59回	89.5h

(5) 高齢者賃貸住宅入居支援事業の充実**(6,647千円)**

身元引受人がないなどの理由により、民間賃貸住宅や都市再生機構（旧住宅・都市整備公団）への入居が困難な一人暮らし等の高齢者が円滑に賃貸住宅に入居できるよう、また安心して在宅生活が送れるよう定期的な見守りサービスや住宅退去時のサービス等に関する事業を実施した。

① 相談状況・契約件数

(ア) 相談件数 76件

(イ) 相談内容（重複あり）（平成23年3月末現在）

内 容	件 数
事業に関すること	38
住宅申込・斡旋	32
連 帯 保 証 人	5
家 賃 補 助	0
退去時サービスのみ	9
そ の 他	2
合 計	86

(ウ) 契約件数 12件

(エ) 総契約件数（平成15年5月～平成22年度末） 101件
(解約累計20件 終了累計5件)

(オ) 平成23年3月末現在契約数 76件

(6) 生活福祉資金貸付事業**(11,501千円)**

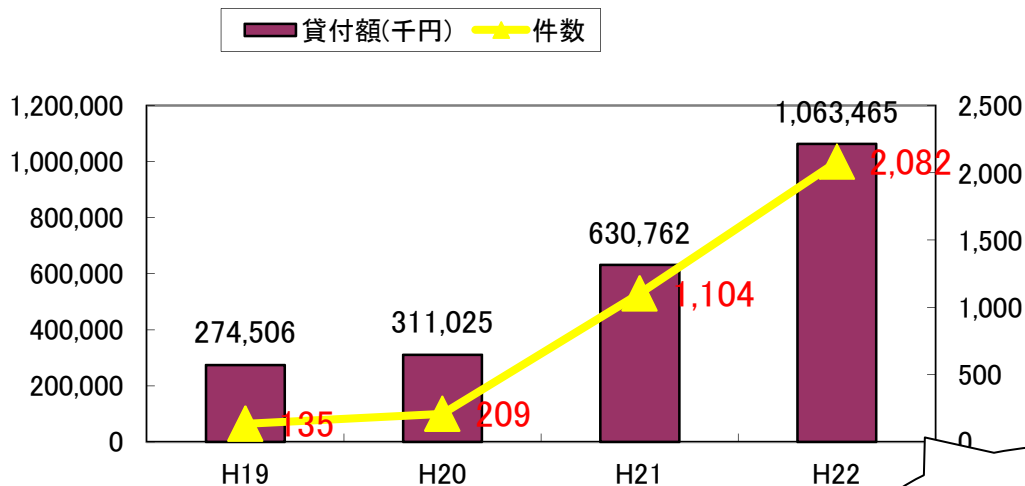
低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等世帯単位を対象に、それぞれの世帯の状況や必要に合わせた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図った。

平成21年10月以降、厳しい経済危機のもとで失業等による生活困窮が広がっている状況等を踏まえ、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金の創設と生活福祉資金の連帯保証人に関する条件緩和や貸付利率の軽減などが行われ、相談件数及び貸付件数が平成22年度においても大幅に増加した。

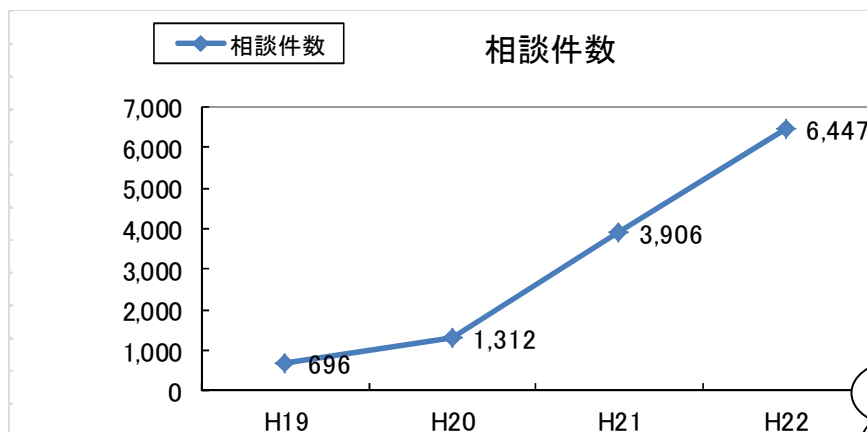
○生活福祉資金：貸付件数 705件、貸付額 487,814,700円

○総合支援資金：貸付件数 1,377件、貸付額 575,650,662円

貸付・償還状況は、【別表4】(P.32)のとおり



H19 年度比較
 件数 15.4倍
 貸付額 3.8倍



相談件数
 H19 年度比較
 相談件数 9.2倍

4 財政基盤の強化

ボランティア基金の積立やホームページのバナー広告など自主財源の確保に努めるとともに、共同募金会と本会の配分事業の連携を深めるため、それぞれの組織のあり方について検討した。

5 「地域福祉活動計画」の策定

(341千円)

すべての市民がお互いに理解し合い、連携して共に支え合いながら安心して暮らすことができる「福祉のまち」を実現するための行動計画である「第4期地域福祉活動計画」の策定に向け、会議を行った。(平成23年度中に策定予定)

- ・策定委員会 1回
- ・小委員会 3回
- ・民生・児童委員部会 1回
- ・施設部会 1回
- ・地域福祉部会 1回

6 市民サービスの向上

(2,294千円)

ふくふくプラザの利便性を高めるため、同プラザのホームページから以下のサービスを提供できるように取り組んだ。

- (1) 市民福祉プラザ貸室の空き状況照会
- (2) 市民福祉プラザ利用登録・更新様式のダウンロード
- (3) 福祉図書・情報室の蔵書検索・予約サービス

7 東日本大震災への支援

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際し、市民からの問い合わせ等に応じるとともに、被災地（福島県）へ職員を派遣し、現地での災害ボランティアセンターの業務にあたった。

(1) 市民からの問い合わせについて(平成23年3月13日～4月30日)

「支援活動の内容」「支援物資提供」「義援金」「ボランティア活動保険」などの問い合わせが市・区ボランティアセンターに190件（個人179件、企業11件）あり、活動に関する情報を提供した。

(2) 街頭募金の実施

福岡県共同募金会福岡市支会とともに、義援金の街頭募金を行った。

〔日 時〕 平成23年3月14日（月）11～13時

〔場 所〕 博多駅周辺

〔募金額〕 950,440円

(3) 職員の派遣について

(799千円)

全国社会福祉協議会からの支援要請を受け、本会より福島県に職員を2名ずつ派遣した。

①目的

福島県内に設置される災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営支援等

②派遣先

福島県田村市災害ボランティアセンター（3/29～4/20）

福島県いわき市災害ボランティアセンター（4/22～）

③派遣開始

平成23年3月29日（火）～

※5～7日で交替

④派遣職員数（平成23年5月13日現在） ※第7陣を派遣中。

延べ 14名・82日



田村市総合体育館（3月30日）



いわき市久之浜地区（5月1日）

【主な事業】

1 住民主体の在宅福祉サービスの推進

地域における支えあいの仕組みづくりを進めていくために、ふれあいネットワークや、ふれあいサロン、ふれあいランチ、ふれあいデイサービス、校区広報紙発行等の地域住民による自主的な福祉活動を支援した。

(1) ふれあいネットワーク事業 (前掲)

(2) ふれあいサロン事業 (前掲)

(3) ふれあいランチ事業 (2, 238千円)

調理をすることが困難な高齢者、障がい者等へ食事を届け、利用者の健康増進を図るとともに、安否確認・各種相談等を行い、地域とのふれあいを深める活動を支援した。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費を助成した。

〔助成額〕 1, 442, 757円

〔助成状況〕

(平成23年3月末現在)

区	助成校区数	校区名	利用者数	ボランティア数	延べ配食数
東	1	美和台	11	21	896
博多	1	那珂	8	7	564
南	2	東花畑、若久	39	41	2,880
早良	3	百道、原、野芥	26	41	1,717
合計		7校区	84	110	6,057

(4) ふれあいデイサービス事業 (3, 102千円)

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、公民館や集会所等で地域のボランティアが定期的に行う介護予防、生きがづくり、社会参加の促進を図る活動を支援した。

なお、福岡市補助金を財源とし、活動費を助成した。

〔助成額〕 2, 000, 000円

〔助成状況〕

(平成23年3月末現在)

区	助成校区数	校区名	延べ利用者数	延べボランティア数
南	1	塩原	422	277
早良	2	有住、田村	1,152	970
西	1	壱岐南	1,189	929
合計		4校区	2,763	2,176

(5) 校区社協広報紙発行业**(8,002千円)**

校区社協が住民の福祉に対する理解と関心を高めることを目的に行う広報紙発行业を支援した。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費を助成した。

[助成額] 5,159,261円

区	助成校区数
東	25
博多	13
中央	10
南	25
城南	10
早良	23
西	21
合計	127

2 ボランティア活動の推進**(1) 広報・啓発活動****(4,626千円)**

市民の福祉意識の高揚とボランティア活動への参加を促進するために、市民が参加できる福祉イベントを実施するとともに、ボランティアについての広報紙、冊子を発行した。

① ボランティア情報紙「風」の発行（偶数月・年6回、2,900部/回）

個人登録者などへ、様々なボランティア活動の紹介や情報の提供を行った。

② メールニュースの発行（偶数月・年6回、102社）

企業やNPO団体を対象に、企業・団体で取り組むことができる社会貢献活動やボランティア活動の情報の提供を行った。

③ ホームページによる情報提供

ボランティア講座の案内、ボランティアグループの紹介、市・区ボランティアセンターの紹介などのボランティア情報を、ホームページをとおして提供した。

(2) 相談・紹介**(9,474千円)**

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関への働きかけを行った。

また、ボランティア活動希望者が、実際の活動に結び付くよう支援した。

① ボランティアコーディネーション事業

(ア) 個人ボランティア活動相談・登録

①活動相談 (合計)	②対応状況	相談のみ	マッチング率 (②÷①)
672	510 (登録352、活動先紹介158)	162	76%

(イ) ボランティア応援依頼

①依頼件数 (合計)	②対応件数	延べ対応ボランティア数	マッチング率 (②÷①)
1, 2 2 3	9 4 3	2, 9 8 2	7 7%

○依頼内容

内 容	件数	内 容	件数
託 児	5 5	身 体 介 助	1 1
施設・団体の行事援助	1 0 7	訓 練	9
日常生活援助	1 5 1	遊 び 相 手	5 5
技術・学習指導	7 9	点 訳	8 3
家事援助	5 0	朗 読	2 7
話し相手	1 3 2	散 髪	6
外出付き添い	3 3 6	そ の 他	1 2 2
		合 計	1, 2 2 3

(ウ) 登録ボランティア内訳

	個人ボラン ティア数	ボランティア グループ数	人数	合計(人)
2 2年度新規	3 5 2	4	4 9	4 0 1
累 計	1, 0 8 1	1 4 7	4, 8 0 2	5, 8 8 3

② 施設・病院等ボランティアコーディネーター研修会【別表1】(P. 29))

③ ボランティア活動情報の収集・提供

(3) 研修・育成・福祉教育

(27, 365千円)

学校、地域、市民や企業に対し、福祉についての学習の機会や教材等を提供し、理解と関心及び意識を高め、福祉活動への参加の動機づけを図った。

① 福祉学習教材の提供

(ア) 生徒用ボランティア活動冊子『わたしもあなたもボランティア』

○配布先 市内の中学校1年生及びその担当教師

○配布数 12, 000部

※学校への配布だけでなく、企業の社員研修にも利用した。

(イ) 福祉体験学習マニュアル『福岡市の福祉教育お役立ちBook』

○配布先 市内の小中学校

○作成数 270部

(ウ) その他教材等の貸し出し

	貸出品	件数	延べ貸出数
貸出	車いす(在宅利用含む)	185	769
	アイマスク	15	311
	高齢者疑似体験	44	343
	点字器	10	459
	共用品・白杖	39	224

② 出前福祉講座【別表1】(P. 29)

学校、企業などに出向き、障がい者疑似体験、高齢者疑似体験などを行い、福祉やボランティア活動の理解を深めた。

③ ボランティア体験事業

中高生を対象に、施設等での高齢者や障がい者との交流を通じて福祉やボランティア活動への関心を高めるための、社会体験の場を提供した。

区	実施日	場 所	回数	参加者数
東	3月25、26、27、29、30日	松島公民館他	5	20
博多	3月29日	博多障がい者フレンドホーム	1	3
南	7月22、26、27、28日 8月2、5、9日	老健施設「湯乃里ま とば」他	7	27
城南	7月23、26、30日 8月3日	福岡中央特別支援 学校他	4	12
早良	8月6、10、11日	ももち福祉プラザ	3	18
西	7月27、28日 8月3、4、5、6日	博多障がい者フレ ンドホーム他	6	15
合計			26	95

④ ボランティア活動普及事業協力校の指定及び助成

小学校・中学校・高校の各1校を福祉教育推進校に指定し、活動費として10万円を助成した。(大名小学校、吉塚中学校、福岡女学院高等学校)

○「ボランティア活動普及事業協力校連絡会」の実施

〔実施日〕 平成22年6月1日(火)

〔会 場〕 市民福祉プラザ

〔出席者〕 担当教員3人

⑤ 高校生介護体験等特別事業協力校の指定及び助成

精華女子高等学校を平成21年度から3ヵ年間協力校に指定し、事業費として10万円を助成した。

(4) 調査・研究

(165千円)

登録ボランティアグループや福祉施設、小規模作業所のボランティアニーズの実態調査を実施し、下記資料を作成してボランティア相談等で活用した。

- ① 登録ボランティアグループ状況調査
- ② 施設・病院等ボランティアニーズ調査
「ボランティア体験受け入れ先情報」「センター登録ボランティアグループ一覧」
「バザー用品等募集情報」、「芸能ボランティア情報」「施設ボランティア募集情報」
「福岡市福祉教育お役立ち Book」

(5) 援助 (3,659千円)

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを各種講座を通じて育成し、また、ボランティアグループの活動を支援した。

- ① 各種ボランティア養成講座の充実 (【別表1】(P. 29))
- ② 登録ボランティアグループへの支援

[実施状況]

	内 容	件数	備 考
助成	グループ結成時支援資金	3	90,000円
	保険料一部補助	7,806	780,600円
	福岡市ボランティア連絡協議会	1	100,000円
貸出	パソコンルーム等活動室	3,832	延べ 21,035人

(6) 「勤マルの日」の実施 (747千円)

誰でも気軽に参加できる拠点ボランティアと、企業などが独自に内容等を企画した自主活動をあわせて行う福岡独自のイベントとして、NPOふくおか及び福岡県経営者協会と共催して実施した。

[実施日] 平成22年11月13日(土)、11月14日(日)
11月20日(土)、11月28日(日)

[会 場] 福岡県内12箇所
大濠公園、天神警固地区、九州がんセンター、油山自然観察の森、
市立こども病院、新宮町楯の松原、アイランドシティー、
舞鶴公園、西公園、芥屋海岸、芦屋町柏原海岸、和白干潟

[参加者数] 30社・1,042人

※「勤マル」は「勤労者マルチライフ支援事業」の略で、勤労者の社会参加・ボランティア活動への参加を促進するための事業。

(7) 在宅視覚障がい者サービス事業等 (1,104千円)

登録ボランティアグループが視覚障がい者等の依頼に応じて、次の通り情報を提供した。

- ① 点字図書

385タイトルを作成し提供した。そのうち140タイトルを「サピエ」(視覚障がい者に対して、デイジーデータをはじめ暮らしに密着した地域・生活情報などを提供する全国ネットワーク)に登録し、全国の視覚障がい者へ提供した。

- ② 録音図書

791タイトルを作成し提供した。

3 地域福祉推進体制の充実・強化

(1) 区社会福祉協議会事業の充実

(12,625千円)

区社会福祉協議会が、校区社協の支援をはじめ各種研修会や福祉講座の開催等、独自性をもった事業を展開できるよう支援した。

① 地域福祉活動リーダー研修会

ふれあいネットワーク・サロン・広報紙発行事業等を推進するため、各区で実施するボランティアの養成及び活動の活性化を図る研修会を支援した。

[実施状況]

区	内容	回数	参加者数
東	ネットワーク	1	44
	サロン	1	102
	広報紙	1	47
博多	ネットワーク	1	43
	サロン	1	56
	校区社協幹部研修会	1	66
中央	ネットワーク	1	51
	サロン	2	81
南	ネットワーク	1	67
	サロン	1	80
	広報紙	1	42
城南	ネットワーク	1	29
	サロン	1	49
早良	ネットワーク	1	79
	サロン	1	50
	広報紙	1	45
西	ネットワーク	1	35
	サロン	1	46
合計		19	1,012

② 区ボランティア情報紙発行

市民に福祉・ボランティアについて啓発を図るため、福祉・ボランティア情報を掲載した情報紙発行を支援した。

[発行状況]

区	発行回数	延べ部数
東	3	336,000
博多	3	87,000
中央	4	32,000
南	3	145,000
城南	4	24,400
早良	3	165,000
西	4	300,000

合計	24	1,089,400
----	----	-----------

(2) 校区社会福祉協議会の支援 (49千円)

市民の福祉ニーズに対応した地域福祉・在宅福祉活動を一層促進するため、その推進役である校区社会福祉協議会の充実・強化に向け支援した。

① 校区社協会長研修会

校区社会福祉協議会の基本的活動の確認や地域福祉活動の課題等について情報を共有し、地域福祉のリーダーとしての人材の育成を支援するために、新任校区社協会長を対象にした研修を実施した。

〔実施日〕 平成22年7月30日(金)

〔参加者数〕 33人

② 校区社協への活動支援

区社会福祉協議会と共働し、校区の実情にあった福祉活動づくりの展開ができるよう社協の事業運営や資金を支援した。

(3) 民生委員児童委員協議会への支援 (45,896千円)

地域福祉を共に推進する民生委員・児童委員の活動充実を図るため、民生委員児童委員協議会へ活動費の助成を行った。(29,795,300円)

(4) 住民福祉活動の支援 (13,673千円)

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、校区社協をはじめ子育てサロン・サークルや障がい児者支援団体、社会的課題の解決に取り組んでいるNPO、ボランティア団体の活動に対し、事業費を助成した。

〔助成状況〕

助成対象	件数
校区社協	150
子育て支援団体	218
障がい児者支援団体	83
社会的課題支援団体	2
合計	453

(5) シニアアシスト城南事業(元気高齢者活動支援事業) (4,817千円)

団塊の世代を中心とするシニア世代の技能や知識・経験を活用するため、人材発掘やボランティア活動への斡旋・調整等をする職員を城南区社協に配置し、シニア世代の活動を地域課題の解決に結びつけるための講座を開催した。また、ホームページや季刊紙、情報紙で活動をPRした。

〔ボランティア活動希望者の登録状況〕 69人

〔ボランティア団体の登録状況〕 43団体 1,089人

(内訳)

福祉(23団体)、まちづくり(9団体)、環境(6団体)、健康・医療(1団体)、健全育成(3団体)、文化(1団体)

〔校区ボランティア講座〕 3校区 全16回 延べ参加人数420人

〔区ボランティア講座〕 全10回 延べ参加人数147人

〔シニアアシスト城南フェスティバル〕 参加人数63人

4 福祉啓発活動の充実

市民の福祉への関心を深めたり、福祉活動に参加するきっかけづくりとするため、情報を発信するとともに、福祉啓発イベントを行った。

(1) 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行 (年2回、17,000部/回)

(1,939千円)

社会福祉にかかわる情報や社会福祉協議会の活動を広く市民に紹介し、福祉に対する意識を高めるため、広報紙を発行・配布した。

(2) 福祉教育読本「ともに生きる」の配布

(607千円)

小学校・特別支援学校に配布し、福祉教育の推進に努めた。配布冊数1,570冊。

(3) ホームページの運営

(587千円)

本会事業を広く市民に周知するため、ホームページにより最新情報の発信に努めた。

[アクセス数] 61,685件

(4) 福祉のまちづくり推進大会

(3,180千円)

市民や福祉関係者の参加による「福祉のまちづくり推進大会」を行い、福祉功労者の表彰や福祉活動の紹介、記念講演を通じて市民ひとりひとりの福祉についての関心を高めるきっかけづくりを行った。

[実施日] 平成22年11月5日(金)

[会場] 福岡市民会館

[参加者数] 1,800人

[記念講演] 講師：二ノ坂 保喜 氏 (このさかクリニック院長)

テーマ：「住みなれた家で最期まで」

(5) 福祉啓発イベント

① 平成22年度「ときめきフェスタ福岡」

障がいのある人との交流を図るとともに、ボランティアの協力を得て福祉体験コーナーを設け、車イス体験などを行い市民への啓発を行った。

[実施日] 平成22年10月17日(日)

[会場] 福岡市役所ふれあい広場

[参加者数] 107人

② ハートフルフェスタ福岡2010

市民の人権問題についての理解を深めるために、ボランティアの協力を得て福祉体験コーナーを設け、車イス体験などを行った。

[実施日] 平成22年10月10日(日)

[会場] 福岡市役所西広場

[内容] 車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験ほか

[参加者数] 119人

③ 「NHKクリスマスコンサート：朗読と音楽の夕べ」

視覚や聴覚に障がいのある人にも楽しめる朗読とコンサートを開催した。

(主催/NHK福岡放送局、共催/福岡市ボランティア連絡協議会、福岡市社会福祉協議会)

[実施日] 平成22年12月19日(日)

[会場] アクロス福岡イベントホール

[参加者数] 300人

5 介護サービス評価事業

介護サービスの質の向上と利用者の介護サービス事業所選びを支援するため、介護サービス評価事業と地域密着型サービス外部評価事業（認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所）を実施した。また、介護サービス情報の公表事業の調査機関として、調査事業を実施した。

なお、介護サービス評価事業の受付及び介護サービス情報の公表の調査事業は、平成22年度末をもって終了した。

(1) 介護サービス評価事業 (7,090千円)

① 実施状況 (平成23年3月末現在)

申込件数	調査済件数	判定済件数	認証取得件数	認証取得率
17件	27件	30件	30件	100%

※ 詳細は、【別表2】(P. 30)のとおり。

② 情報提供状況

(ア) ホームページによる情報提供 (平成23年3月末現在)

- ・ 情報提供事業所数 79件
- ・ アクセス数 53,732件

(イ) 紙またはデータによる情報提供

区保健福祉センター、区社会福祉協議会、民生委員・児童委員（地区会長・副会長・校区幹事）、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）、その他関係機関に対し、年2回（6月・9月）「認証交付事業所一覧」を配付した。

③ 介護サービス評価委員会開催

(ア) 開催状況 12回（2班編成）

(イ) 委員の構成 9人（学識経験者、介護サービス精通者、市民）

④ 広報等

市社協広報紙等への記事掲載及び市民福祉プラザ1階ロビーへの認証交付事業所一覧の掲示等により、関係機関・市民への広報を実施した。

(2) 地域密着型サービス外部評価事業 (1,931千円)

[実施状況] (平成23年3月末現在)

申込件数	調査済件数	評価確定件数	公開済件数
53件	69件	66件	66件

※ 詳細は、【別表3】(P. 31)のとおり

(3) 介護サービス情報公表事業 (2,223千円)

[実施状況]

調査済件数
597件

6 心配ごと相談所事業

民生委員・児童委員、福岡県弁護士会及び行政書士の協力を得て、市民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、適切な助言、援助を行うことでその人らしい暮らしを支える「心配ごと相談所」を次のとおり実施した。

また、あわせて福岡市からの受託事業として、福祉相談事業（高齢者に関する法律相談）を、「心配ごと相談所」において実施した。

(1) 開設状況

(4,844千円)

① 実施日時

○心配ごと相談

一般相談：毎週月曜日 10時から16時まで

専門相談：毎週月曜日、金曜日 13時から16時まで

○ 高齢者に関する法律相談

毎週水曜日 13時から16時まで

※相談日の1か月前から電話等による予約受付を実施。

② 場所 市民福祉プラザ3階 相談室

③ 相談員（1相談日につき）

民生委員・児童委員 2人、弁護士1人、行政書士1人

④ 開設日数

○ 心配ごと相談（一般相談、専門相談） 94日

○ 高齢者に関する法律相談 49日

⑤ 相談状況

1日あたり6.3件（うち高齢者に関する法律相談3.7件）

(平成23年3月末現在)

種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	医療・保健	人権・法律	財産	事故	福祉	苦情	その他	
件数	30 (7)	21 (9)	49 (16)	71 (15)	133 (20)	22 (6)	39 (19)	150 (56)	7 (2)	15 (3)	11 (5)	46 (22)	594 (180)

()は、高齢者に関する法律相談

⑥ 相談結果

	相談所解決	民生委員紹介	他機関紹介	その他	計
件数	504 (157)	1 (0)	84 (23)	5 (0)	594 (180)

()は、高齢者に関する法律相談

(2) 相談窓口の手引の配布

(748千円)

本会をはじめ、関係機関で提供される福祉制度や福祉サービスを掲載した「相談窓口の手引」を作成し、地域の身近な相談相手である、民生委員・児童委員や各種相談

窓口に配布し、適切な情報を提供する相談機能の充実を図った。

7 奉仕銀行（寄付）の運営 （16,346千円）

本会に対する寄付金や物品を受け入れ、その受け入れた一般寄付金及び福岡市の補助金を財源に、法人格を有しない9団体・施設に277,500円を配分し、施設整備等を支援した。また、施設等への物品寄贈やイベント招待等を仲介し、福祉活動の振興に努めた。

項目	件数	金額	備考
寄付金	42件	10,226,827円	
物品	1件	890,000円	車両
仲介等	14件	—	ミュージカル招待、定期演奏会招待、ランドセル等
合計	57件	11,116,827円	

8 ファミリー・サポート・センター事業（前掲）

9 日常生活自立支援事業（前掲）

10 高齢者賃貸住宅入居支援事業（前掲）

11 貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者及び民間保育施設等に対して、各種の貸付事業を実施した。

（1）生活福祉資金貸付事業（前掲）

（2）臨時特例つなぎ資金貸付事業 （2,408千円）

解雇や派遣労働者の雇止め等により住居を喪失し、その後の生計維持が困難な離職者が公的給付制度等（失業等給付、住宅手当等）を申請し、その交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けるため、平成21年10月より生活福祉資金とは別に「臨時特例つなぎ資金」貸付制度が創設された。

貸付件数 236件、貸付額 23,530,000円

なお、貸付・償還状況は、【別表4】（P. 32）のとおり

（3）障がい者高齢者住宅整備資金貸付事業の実施 （636千円）

平成22年度末をもって貸付事業は終了した。（平成22年度貸付実績なし）

なお、貸付・償還状況は、【別表4】（P. 32）のとおり

（4）生活保護世帯等一時貸付金事業 （84,993千円）

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対しての貸付事業を実施した。

貸付件数 4,029件、貸付額 54,601,500円

なお、貸付・償還状況は、【別表4】(P. 32)のとおり

(5) 民間保育施設整備資金貸付事業 (13,195千円)

民間が経営する保育施設の建物の修理、増改築及び備品等の整備に必要な資金の貸付事業を実施した(平成22年度貸付実績は1件、7,000,000円)。

なお、貸付・償還状況は、【別表4】(P. 32)のとおり

12 市民福祉プラザ事業の推進

市民福祉プラザの指定管理者として、市民が安心して利用できるよう管理運営を行うとともに、入居団体等と連携して研修及び啓発事業、相談事業等を実施し、市民の福祉への理解や福祉活動への参加を支援した。

(1) 福祉活動拠点機能の充実 (202,799千円)

① 貸室運営

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行った。特に、貸室の空き情報をホームページに掲載するよう取り組み、新年度から供用できるようにした。

また、サービス向上と利用者の満足度を高めるためアンケート調査を実施し、意見を運営に反映させた。

施設全体の利用延人員は330,618人で、前年度比で101.8%と増加した。各施設の利用状況は【別表5】(P. 33)のとおり。

② 「ふくふくプラザまつり」の開催

新規事業として、障がい者週間にあわせて、プラザ利用団体や福祉作業所などの参加を得て開催した。団体・施設はホールでの歌やダンス、演劇の発表や授産製品販売など、本会は映画の上映を行い、福祉啓発を図るとともに利用団体相互の交流を図った。

また、実施に当たっては福岡市主催「障がい者週間記念の集い」と連携して行った。

〔実施日〕 平成22年12月4日(土)～8日(水)

〔会場〕 市民福祉プラザホール 他

〔参加団体〕 32団体

〔入場者数〕 延べ約1,500人

〔内容〕 ○ステージでの発表会

○展示・体験コーナーの開催

○盲導犬の話と映画「クイール」(副音声付)上映会

○福大若葉高校吹奏楽部演奏と映画「アイ・アム・サム」上映会

○授産製品等の販売 など

③ 障がい者作品展の開催

障がい者週間にあわせて福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真、書などを1階エントランスホールやレストラン内に展示し、障がい者福祉啓発に努めた。

〔実施日〕 平成22年12月1日(水)～28日(火)

〔会場〕 市民福祉プラザホール 他

[参加数] 5施設・団体 54作品

④ プラザ入居団体連絡会やプラザ利用団体、地域団体との懇談会の開催

入居団体やプラザ利用団体との施設運営に関する意見交換をそれぞれ実施し、改善等を行った。

また、地域団体との懇談会等を通して地域とプラザ共通の問題等について協議するとともに、地域情報とプラザ情報を共有化し地域との交流を図った。

(ア) プラザ入居団体連絡会 (年6回)

(イ) 視覚障がい者団体やボランティア団体との懇談会 (年2回)

(ウ) 当仁校区自治協議会との懇談会 (年1回)

(エ) 当仁校区自治協議会連絡会への参加 (年10回)

(2) 市民向けの福祉講座の開催

(517千円)

例年実施している講座に加え、テーマに「孤立死」と「子ども虐待」を据えた講演会等を市民向けに実施し、福祉啓発と福祉事業への理解を図った。

また、市民福祉プラザ施設見学を受け入れ、ユニバーサルデザインなどへの理解と施設の利用を促した。その他、資格取得講座を実施した。

[実施状況]

研修事業名		回数	延日数	受講者数 (人)
福祉入門教室	手話教室	1	1	15
	福祉講演会「孤立死防止」	1	1	180
	福祉講演会「子ども虐待防止」	1	1	203
施設見学受入		54	54	1,558
介護支援専門員受験対策講座		1	4	205

(3) 情報提供と相談事業の充実

(8,761千円)

① 福祉図書・情報室の運営

[福祉図書・情報室蔵書数] (平成23年3月末現在)

図書	ビデオ・DVD
28,309冊	1,140本

[福祉図書・情報室利用状況]

利用者数	貸出数		新規登録者数	レファレンス数
	図書	ビデオ・DVD		
38,564人	12,362冊	708本	539人	1,502件

[ホームページアクセス数] 46,816件

[「プラザだより」発行実績]

紙	音訳版	点訳版
毎月 4,500部 A4版4ページ	毎月 23本	毎月 12部

[「図書案内」発行実績] 隔月 4,500部/回

② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室にて「対面朗読サービス」を提供した。

〔対面朗読サービス実績〕 259件

③ 音訳・点訳活動等の支援

視覚障がい者が情報を得る機会を増やすため、音訳・点訳活動に必要な機器（CD録音機、点字プリンタ等）や拡大読書器を整備した。

④ プラザ相談窓口研修会の開催

〔開催日〕 平成23年3月10日（木）

〔会 場〕 市民福祉プラザ

〔参加者数〕 40人

〔内 容〕 講演「コミュニケーションの基本」

（九州大学 健康科学センター 准教授 入江 正洋氏）

13 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業 (70,949千円)

民間社会福祉施設等の職員の福利厚生の実施を目的に、加入職員のニーズにあわせた事業の企画・実施に務めた。事業の詳細については、【別表6】（P.34・35）のとおり。

〔加入状況〕 (平成23年3月末現在)

加入契約者数	施設数	加入職員数
127	152	3,808

14 福祉人材の育成 (3,021千円)

民間社会福祉施設従事者を対象とした7種の研修と社会福祉関係団体職員を対象とした2種の研修を実施し、福祉に関する知識や技術、組織の中での役割などについての理解を深めた。

〔実施状況〕

研修対象	研修事業名	回数	延日数	受講者数 (人)
民間社会福祉 施設従事者	新任職員研修	1	2	33
	中堅職員研修	1	2	49
	指導的職員研修	1	2	29
	法人理事長・施設長研修	1	1	52
	救急法研修	2	1	79
	メンタルヘルス研修	1	1	44
社会福祉関係 団体職員	福祉レクリエーション研修	2	1	91
	人権研修	1	1	35
	接遇研修	1	1	74

15 ホームレス自立支援事業

(1)「福岡絆プロジェクト」への参画

ホームレスや若年生活保護世帯の人たちの支援をすすめる「福岡絆プロジェクト」に参画した。

(2) 暖房用品（カイロ）の配布 (245千円)

歳末たすけあい募金の配分を受け、冬期の寒さをしのぐための暖房用品（カイロ）を支援団体と協力し、ホームレスの人たちに配布した。

16 各種福祉事業

(1) 福祉バス事業 (5,392千円)

老人クラブ、障がい児・者団体及び母子福祉団体の福祉活動を支援するための福祉バスの申し込み受付、バス会社への配車予約等を実施し、延べ36,828人の利用実績があった。団体の利用状況は次のとおり。

[福祉バス利用状況]

高齢者団体	心身障がい者団体	児童・母子福祉団体	その他	合計
670台	225台	19台	126台	1,040台

(2) 福祉用具リサイクル斡旋事業 (5千円)

不用となった福祉用具を「譲りたい人」と福祉用具が「必要な人」をコーディネートし、福祉用具のリサイクルを進めるとともに、福祉用具の普及と在宅介護の軽減を図った。また、提供状況からすぐに用具の斡旋ができない場合で、相談者が早急に用具を必要としている場合、福祉用具リサイクル業者情報を紹介し、相談者のニーズに可能な限り応えられるよう努めた。

[登録件数]

(平成23年3月末現在)

	車いす	電動ベッド	歩行支援用具	その他	計
提供希望者	53	19	13	33	118
譲受希望者	68	27	12	27	134
合計					252

※ 車いすには電動車いすを含む

[処理状況]

(平成23年3月末現在)

成 立	取り下げ	調整中
98	58	1

(3) 家族介護者のつどい事業 (840千円)

在宅で寝たきりや認知症高齢者を介護している人を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護技術などの習得、介護サービスの利用促進、介護者の心身のリフレッシュを目的とした集いを実施した。

実施状況については、【別表7】(P.36)のとおり。

(4) 歳末見舞金贈呈事業 (4,764千円)

歳末たすけあい募金の配分を受け、福祉作業所利用者、交通遺児、里親委託児童に

対し、歳末見舞金を贈呈した。

- ・ 福祉作業所利用者 867件
- ・ 交通遺児 80件
- ・ 里親委託児童 77件

(5) リフトカー貸出事業 (548千円)

歩行が困難な高齢者、障がい者等の社会参加の機会拡大等のために、リフトカーの貸出を行なった。(貸出件数 31件)

(6) 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のために積極的な活動を続け、その功績が顕著な個人、団体の表彰を「福岡市福祉のまちづくり推進大会」で行った。

- ・ 福岡市社会福祉協議会会長表彰 188人・55団体
- ・ 福岡市社会福祉協議会会長感謝状 105人・26団体

(7) 老人の日関連事業 (2,469千円)

高齢者に対する敬愛の念を示すとともに、「老人の日」を記念して、百歳を迎える高齢者に祝状と記念品を、米寿を迎える高齢者に祝状を福岡市とともに贈呈した。

[贈呈者数]

百 歳	米 寿	合 計
238人	3,786人	4,024人

(8) 施設整備利子補助事業 (129,181千円)

社会福祉事業の振興を図るため、福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して補助金を交付した。

(99法人103施設109件 83,242,320円)

(9) 更生保護施設助成事業 (2,838千円)

更生保護の推進を目的とした活動に対して、補助金を交付した。

(3団体1,830,000円)

(10) 福岡市戦災引揚死没者追悼式 (1,343千円)

[実施日] 平成22年6月19日(土)

[会場] 福岡市戦災記念碑(博多区冷泉公園内)

[参加者数] 266人(うち遺族59人)

(11) 「第53回大都市社会福祉施設協議会(広島市大会)」への参加 (194千円)

政令指定都市の社会福祉施設の代表者が一堂に会し、種別ごとに大都市の施設が抱える共通の課題等を研究・協議する会議の案内を行うとともに、市内の参加施設のとりまとめを行い、参加した。

[本市参加者] 施設関係者: 15人

社協 : 1人

(12) 母と子の体育大会(福岡市・福岡市母子福祉会・福岡市社会福祉協議会 主催) (47千円)

[実施日] 平成22年5月22日(土)

[会場] 福岡市民体育館

[参加者数] 281人

(13) 児童福祉施設球技大会(福岡市・福岡市社会福祉協議会 主催) (152千円)

[実施日] 平成22年6月20日(日)

〔会 場〕 山王公園野球場、博多体育館

〔競技種目及び出場チーム〕 野球の部 3チーム

バレーボールの部 3チーム

(14) 障がい者週間(12月3日～9日) 記念の集い

福岡市が主催する「障がい者週間記念の集い」事業に参加し、障がい者関係団体とともに障がい者の社会参加と福祉向上のための啓発活動を行った。

〔実施日〕 平成22年12月5日(日)

〔会 場〕 福岡天神大丸パサージュ広場周辺

〔記念講演・ステージ〕 「ともに考える福祉のこと 障害者の人権のこと」

講師：古田厚子氏 他 福祉団体等 多数

17 福祉サービス苦情解決

福祉サービス利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、サービス内容をより充実するため苦情解決に取り組んだ。

18 財源の確保

福岡市ボランティア活動振興基金の管理運営を行うとともに、ホームページのバナー広告など自主財源の確保に努めた。

(1) ボランティア活動振興基金の造成

ボランティア活動振興のために設置した基金に寄付等を積み立て、ボランティア活動を推進するための財源確保に努めた。

内 訳	件数	金 額
奉仕銀行ボランティア特定寄付金	4件	1,511,955円
福岡市ボランティア活動振興基金補助金	—	500,000円
合 計		2,011,955円

〔平成22年度末基金額〕650,831,505円

(2) その他の財源の確保

内 訳	件数	金 額
会費(正会費・賛助会費)	26	180,000円
バナー広告料	2	120,000円
車いす等貸出料	19	31,400円
外部講師謝礼	5	98,920円
実習生受入謝礼	3	31,400円
合 計	55	461,720円

19 会務の運営

(1) 理事会の開催

実施日	出席者数	審議事項等
第160回 平成22年4月30日	19人	〈審議事項〉 評議員の委嘱について
第161回 平成22年5月25日	15人	〈審議事項〉 平成21年度事業報告 平成21年度一般会計決算 平成21年度収益事業特別会計決算 評議員の委嘱について
第162回 平成22年9月13日	14人	〈審議事項〉 評議員の委嘱について
第163回 平成23年2月2日	17人	〈審議事項〉 評議員の委嘱について
第164回 平成23年3月29日	18人	〈審議事項〉 平成22年度一般会計資金収支補正予算案 平成23年度事業計画案 平成23年度一般会計資金収支予算案 平成23年度収益事業特別会計資金収支予算案 定款の一部変更案 事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 職員就業規則の一部改正案 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任

(2) 評議員会の開催

実施日	出席者数	審議事項等
第157回 平成22年4月30日	50人	〈審議事項〉 監事の選任について
第158回 平成22年5月25日	54人	〈審議事項〉 平成21年度事業報告 平成21年度一般会計決算 平成21年度収益事業特別会計決算
第159回 平成22年9月13日	53人	〈審議事項〉 理事の選任について
第160回 平成23年2月2日	45人	〈審議事項〉 理事の選任について 監事の選任について

実施日	出席者数	審議事項等
第161回 平成23年3月29日	53 人	〈審議事項〉 平成22年度一般会計資金収支補正予算案 平成23年度事業計画案 平成23年度一般会計資金収支予算案 平成23年度収益事業特別会計資金収支予算案 定款の一部変更案 理事の選任について 副会長の選任

(3) 監査の実施

実施日	出席者数	監査事項等
平成22年5月13日	3人	業務執行の状況及び財産の状況を監査

【別表1】 22年度ボランティアセンター講座等実施状況一覧

講座名	実施状況	受講者数
① 音訳(朗読)ボランティア養成講座(初心者向)	[期間] 平成22年5月20日～8月19日 全13回 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 音訳(朗読)ボランティア養成 [講師] 元アナウンサー 佐々木健介 氏	31
〃 (追加講座)	[期間] 平成22年6月22日～7月12日 全4回 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 音訳(朗読)ボランティア養成 [講師] 元アナウンサー 林 欣子 氏	10
② 音訳(朗読)ボランティアフォローアップ研修会(中堅者向)	[期間] 平成22年10月30日、12月4日 全2回 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 音訳(朗読)ボランティア養成 [講師] 元アナウンサー 林 欣子 氏、佐々木健介 氏	18
③ 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座(初心者向)	[期間] 平成22年8月21日～9月4日 全3回 [会場] 市民福祉プラザほか [テーマ] 外出の手引きをするボランティア養成 [講師] 国立視力障害センター 篠原 廣 氏	8
④ シニア福祉ボランティア養成講座	[期間] 平成23年2月24日～3月17日の3日間 [会場] 市民福祉プラザ他 [テーマ] シニア世代に活動の機会を提供 [講師] センター職員	9
⑤ ボランティアリーダー研修会	[期間] 平成23年1月28日 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 「ボランティア活動について語ろう」(ワークショップ) [講師] センター職員	17
⑦ 福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会	[実施日] 平成23年3月11日 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 「施設ボランティアコーディネーターの役割」 [講師] 高口 貴子 氏(原土井病院ボランティアコーディネーター) [〃] 今村 晃章 氏(福岡県NPOボランティアセンター職員)	30
⑧ ボランティア初心者研修会	[実施日] 平成22年5月22日、7月10日、9月18日、11月27日、1月15日、3月12日 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 「ボランティア活動について」 [講師] センター職員	40
⑨ 市民・ボランティア活動入門講座No.1	[実施日] 平成22年7月31日 [会場] 福岡市NPO・ボランティア交流センター [テーマ] 「ボランティア新時代を支えるために」 [講師] 加留部 貴行 氏(九州大学特任教授)	25
〃 市民・ボランティア活動入門講座No.2	[実施日] 平成22年9月14日 [会場] 福岡市NPO・ボランティア交流センター [テーマ] 「ボランティアってなに」 [講師] 張 正好 氏(福岡市社会福祉協議会)	20
⑩ ボランティアステップアップ研修会	[実施日] 平成22年11月6日 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 「家族と暮らせない子どもたちに地域で何ができ [講師] 子どもの村福岡 副理事長坂本 雅子 氏	20
⑪ 出前ボランティア講座	[件数] 51件 [対象] 公民館、学校、企業、地域団体等	1,881
⑫ 企業の社会貢献(CSR)セミナー	[実施日] 平成22年9月8日 [会場] 市民福祉プラザ [テーマ] 「CSRの基本原則とCSRを活用した企業活力の向上」 [講師] 大阪ボランティア協会事務局長 早瀬 昇 氏	23
⑬ 切手ボランティア交流会	[実施日] 平成22年12月16日 [会場] 市民福祉プラザ [内容] 使用済み切手ボランティアの交流	7
⑭ 韓国自願奉仕联合会ボランティア講座	[実施日] 平成22年8月3日 [会場] 福岡市NPO・ボランティア交流センター [テーマ] 韓国のボランティアの現状 [講師] 会長 李 大根 氏	15
⑮ 韓日青少年ボランティア交流プログラム	[実施日] 平成22年8月4日 [会場] なのみ学園、南障がい者フレンドホーム、障がい者スポーツセンター、清水ワークプラザ [内容] 施設における韓国青年のボランティア体験	26

【別表2】

〔介護サービス評価事業実施状況〕

(平成23年3月末現在)

サービスの種類	申込件数	調査済件数	判定済件数	認証取得件数	認証取得率
訪問介護	0 (87)	2 (87)	3 (87)	3 (81)	100.0% (93.1%)
訪問入浴介護	0 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (3)	- (100.0%)
訪問看護	2 (48)	2 (48)	2 (48)	2 (48)	100.0% (100.0%)
訪問リハビリテーション	0 (6)	0 (6)	0 (6)	0 (6)	- (100.0%)
通所介護	5 (86)	8 (85)	8 (85)	8 (85)	100.0% (100.0%)
通所リハビリテーション	1 (57)	2 (57)	2 (57)	2 (57)	100.0% (100.0%)
福祉用具貸与	0 (11)	0 (11)	0 (11)	0 (10)	- (90.9%)
短期入所生活介護	0 (25)	0 (25)	0 (25)	0 (25)	- (100.0%)
短期入所療養介護	0 (6)	0 (6)	0 (6)	0 (6)	- (100.0%)
認知症対応型共同生活介護	1 (12)	2 (12)	2 (12)	2 (12)	100.0% (100.0%)
特定施設入所者生活介護	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	- (100.0%)
居宅介護支援	2 (129)	4 (129)	4 (129)	4 (123)	100.0% (95.3%)
介護老人福祉施設	4 (60)	5 (60)	6 (60)	6 (60)	100.0% (100.0%)
介護老人保健施設	2 (38)	2 (37)	3 (37)	3 (37)	100.0% (100.0%)
介護療養型医療施設	0 (14)	0 (14)	0 (14)	0 (14)	- (100.0%)
認知症対応型通所介護	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	- (100.0%)
合計	17 (586)	27 (584)	30 (584)	30 (571)	100.0% (97.8%)

※()内は、平成14年度からの累計件数、累計認証取得率

【別表3】

[地域密着型サービス外部評価事業実施状況]

(平成23年3月末現在)

サービス種別		申込件数	調査済件数	評価確定件数	公開済件数
認知症高齢者グループホーム	1～3ユニット	30	42	41	41
	4ユニット以上	0	0	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所		23	27	25	25
合 計		53	69	66	66

【別表4】

〔資金貸付・償還状況〕

(1) 生活福祉資金

資金種類	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
福祉資金	90	82,760,000	9,289,590
教育支援資金	308	249,797,000	84,844,589
緊急小口資金	293	27,899,000	9,209,813
総合支援資金	1,377	575,650,662	7,136,061
離職者支援資金	0	0	27,371,555
不動産担保型生活資金	7	75,355,000	15,224,234
要保護世帯向不動産担保型生活資金	7	52,003,700	1,452,000
計	2,082	1,063,465,362	154,527,842

(2) 臨時特例つなぎ資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	236	23,530,000	4,670,500

(3) 障がい者高齢者住宅整備資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	0	0	3,363,250

(4) 生活保護世帯等一時貸付金

種別	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	4,022	54,455,500	53,550,800
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	7	146,000	204,000
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	54,000
合計	4,029	54,601,500	53,808,800

(5) 民間保育施設整備資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	1	7,000,000	9,850,700

【別表5】

〔福岡市市民福祉プラザ 利用状況〕

区 分		利用状況		
貸 出 施 設	ふくふくホール	利 用 日 数	270 日	
		利 用 者 数	41,421 人	
	会議室（3室）	利 用 日 数	999 日	
		利 用 者 数	39,388 人	
	研修室（7室）	利 用 日 数	2,241 日	
		利 用 者 数	107,360 人	
	和室・実習室（7室）	利 用 日 数	1,670 日	
		利 用 者 数	46,138 人	
	交流ひろば	利 用 日 数	261 日	
		利 用 者 数	10,761 人	
	計	利 用 日 数	5,441 日	
		利 用 者 数	245,068 人	
	そ の 他 の 施 設	福祉用具展示場	利 用 者 数	24,400 人
		視察・施設見学	団 体 数	54 団体
利 用 者 数			1,569 人	
ボランティアルーム等		利 用 件 数	3,832 件	
		利 用 者 数	21,035 人	
福祉図書・情報室		開 室 日 数	332 日	
		利 用 者 数	38,546 人	
		登 録 者 数	539 人	
		貸 出 冊 ・ 本 数	13,070 冊	
		対 面 朗 読	258 人	
計	利 用 者 数	85,550 人		
利 用 者 総 数			330,618 人	
開 館 日 数			346 日	
1 日 平 均 利 用 者 数			956 人	

【別表6】

〔民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済制度事業実施状況〕

(1) 給付事業

内 容		決 算 額	
種 別	単価 (円)	件数	金 額 (円)
結婚祝金	30,000	126	3,780,000
出産祝金	30,000	100	3,000,000
入学祝金	30,000	148	4,440,000
義務教育終了祝金	30,000	66	1,980,000
死亡見舞金		47	1,444,000
本人	100,000	3	300,000
被扶養者	70,000	0	0
その他	26,000	44	1,144,000
傷病見舞金	40,000	13	520,000
災害見舞金		1	150,000
全焼 (壊)	150,000	1	150,000
半焼 (壊)	70,000	0	0
その他	30,000	0	0
特別結婚祝金	30,000	16	480,000
小 計		517	15,794,000
退会一時金	支給率で算出	571	61,265,364
合 計		1,088	77,059,364

(2) 貸付事業

内 容		決 算 額	
種 別	貸付限度額 (円)	件数	金 額 (円)
生活資金		12	1,980,000
5年未満	120,000	4	480,000
5年以上	150,000	2	300,000
10年以上	200,000	6	1,200,000
慶弔資金	250,000	0	0
医療資金	250,000	0	0
入学資金		8	3,250,000
高 校	250,000	3	750,000
大 学	500,000	5	2,500,000
罹災資金	500,000	0	0
合 計		20	5,230,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区 分		決 算 額 (円)	
加入期間	記念品額 (円)	件数	金 額
5年	5,000	195	975,000
10年	10,000	78	780,000
15年	10,000	37	370,000
20年	15,000	24	360,000
25年	15,000	18	270,000
30年	20,000	16	320,000
35年	20,000	10	200,000
送 料			61,110
合 計		378	3,336,110

(4) 保 養 所 事 業

内 容		決 算 額 (円)	
区 分	補助額 (円)	件数	金 額
大 人	2,500	176	440,000
小 人	1,200	8	9,600
合 計		184	449,600

(5) 文 化 体 育 事 業

内 容		決 算 額 (円)	
区 分	補助額 (円) 等	件数	金 額
文化鑑賞引換券補助	3,000	3,949	8,897,200
映画鑑賞補助	費用の一部	8,085	2,160,710
観劇補助	費用の約1/3	176	1,064,000
プロ野球観戦補助	費用の約1/3	414	934,611
Jリーグ観戦補助	費用の約1/3	42	70,500
海浜プール利用補助	費用の一部	712	406,320
スポーツクラブ利用補助	費用の一部	13	749,975
合 計		13,391	14,283,316

【別表7】 家族介護者のつどい事業実施状況

区	実施形態	実施日	会場	介護者 (人)
東	介護者研修・交流会	平成22年9月10日	馬出会館	8
	バスハイク	平成22年10月8日	脇田温泉「楠水閣」(宮若市脇田)	14
	情報交換会及び交流会	平成23年2月3日	東市民センター音楽室・視聴覚室	11
博多	バスハイク	平成22年12月3日	ホテルパーレンス小野屋(朝倉市杷木)	9
中央	バスハイク	平成22年10月5日	博多 湯布院・武雄温泉 万葉の湯(博多区)	3
南	第1回交流会	平成22年7月5日	南区役所別館会議室	10
	バスハイク	平成22年10月8日	天拝の里(筑紫野市)	8
	第2回交流会	平成22年12月3日	木曾路 大橋店	16
	第3回交流会	平成23年3月2日	南市民センター第1会議室	13
城南	バスハイク	平成22年11月9日	福岡市介護実習普及センター	4
早良	(合同開催)			8
西	バスハイク	平成22年11月9日	福岡市市民福祉プラザ まむし温泉(糸島市二丈)	9
合計				113